

道営住宅の新たな配置について

概要

北海道と市町村が連携し、住宅施策及び脱炭素化に向けた取り組みをより効果的に推進するため、道営住宅の「新たな配置」による実施方針に基づき、道営住宅を新たに配置・整備する。

整備条件

- (1) 令和4年4月1日時点で道営住宅が所在しない市町村に整備を行うこと
- (2) 「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、市町村の脱炭素化の推進に関する施策と連携し、全道のモデルとなる取り組み(創エネルギーの導入、高効率設備機器のリースなど)であること
- (3) 基幹産業の振興やコミュニティの再構築といった地域の課題解決(子育て支援、高齢者施策、移住施策、災害対策など)に資するものであること
- (4) 道営住宅に対する十分な住宅ニーズがあり、市町村の補完的な役割としての整備であること
- (5) 建設地は、災害の危険がなく、概ね平坦で造成等のコストが過大とならない土地であること
- (6) 市町村が管理委託を受けること

整備スケジュール

日程		内容
令和4年	10月31日	提案の募集開始
	12月23日	提案の提出期限
令和5年	1月19日、23日	提案市町村へのヒアリング
	2月10日	選定審査委員会 候補市町村(案)選定
	3月1日、6日	候補市町村(案)への追加ヒアリング
	3月28日	北海道住宅対策審議会
	3月末	候補市町村の決定
4月～	事業決定に向けた協議	

提案の募集状況と候補市町村

■ 提案の募集状況

6町から応募

■ 候補市町村

	提案戸数	ゼロカーボン 北海道の実現に 向けた提案	地域課題の解決に 向けた提案
厚沢部町	12戸	道営住宅における屋根貸し太陽光発電事業と各種組み合わせた再エネ供給	保育園留学と道営住宅を活用した子育て世帯の移住定住促進
上士幌町	10戸	バイオガスプラントを活用した道営住宅への再エネ供給と交流人口を活かした情報発信、EVの普及推進	DX推進と道営住宅を活用した移住定住促進による集落の維持、観光産業の活性化
鹿追町	15戸	バイオガスプラントを活用した道営住宅への再エネ供給とV2H及びグリーンLPガスの導入	道営住宅を活用した多世代交流支援事業と地域共生社会の実現